

キャンプファイアー



1 活動のねらい

コミュニケーション能力	自分のことは自分です	何事も最後までやり遂げる	リーダー性	自己をふり返り、集団を見つめ直す	自然に親しみ、環境について考える
○			◎	◎	

2 概要



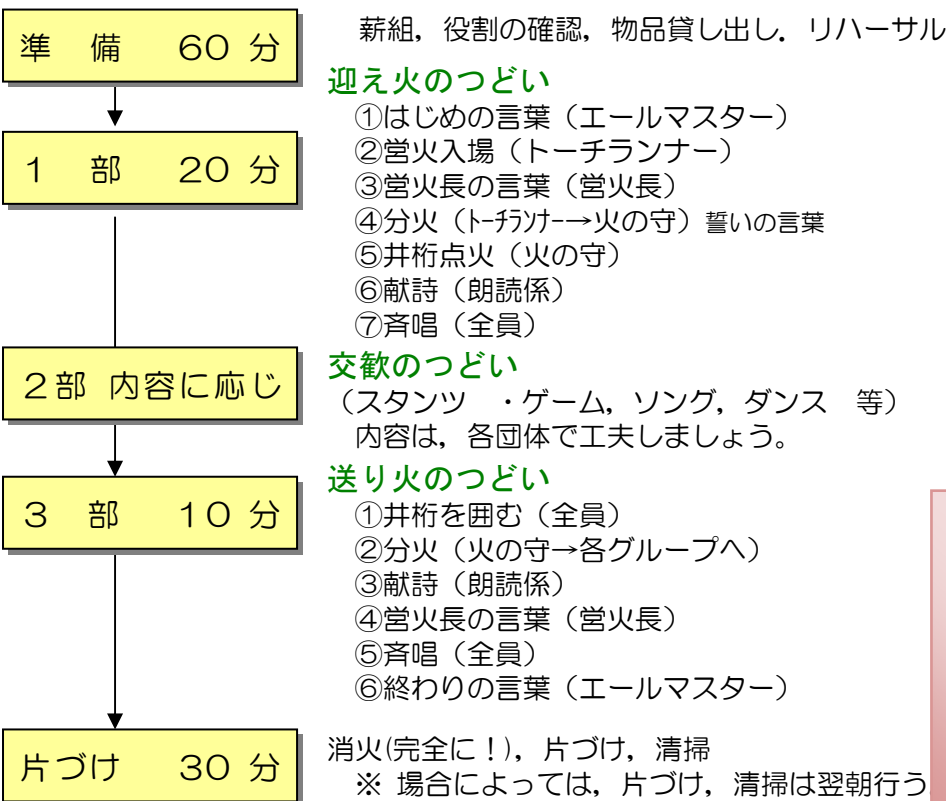
自然の中で炎を囲み、ゲーム・歌・ダンス・スタンツなどをおして、全員が心をかよわせることによって、連帯感や友情を深め、楽しい思い出をつくるとともに、研修のまとめや自己を深く見つめる機会とすることができます。

3 対象及び活動形態

小学校～成人（200名程度）

4 プログラムの流れ

（セレモニアルファイアーの一例として）



セレモニーとして行う場合は、1・3部は**厳粛な雰囲気**で行うように意識付けをしておきましょう。
 ファイアーの流し方はいろいろありますが、**研修の目的に一番合った内容**になるように工夫しましょう。

5 準備物

- 『青年の家』 ファイアー用丸太、音響機器 等
 『団体』 トーチ、灯油（500ml）、軍手、薪、燃えにくい服装（綿性）

役割分担例（人数）	主な内容
営火長（1）	責任者で、迎え火・送り火のつどいで挨拶を行う
エールマスター（1）	プログラム全体の司会進行を行う
トーチランナー（1）	迎え火のつどいで火を掲げて入場する
火の守（4～8）	分火された火を中央の井桁への点火や、誓いの言葉を述べる
献詩（1～2）	迎え火・送り火のつどいで詩の朗読を行う
音響（1）	プログラムに合わせて音響を担当する
ファイアーキーパー（2）成人	井桁を組んだり、火勢の保持をしたりする